



おひさま

発行：茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会
 責任者：木下 操／茅ヶ崎市民児協会長
 編集者：井上 明／茅ヶ崎市民児協副会長
 〒253-8686

茅ヶ崎茅ヶ崎1-1-1
 茅ヶ崎市役所地域福祉課民児協事務局
 ☎0467-82-1111

ひと目で分かる！「令和4年度茅ヶ崎市在宅高齢者実態調査」結果報告

①在宅高齢者実態調査とは？

3年ごとに各地区担当の民生委員・児童委員が高齢者宅を一軒ごとに訪問し、聴き取り調査を行っています。

②令和4年度の調査について

新型コロナウイルス感染症の影響をふまえ、**感染症対策に心がけ**、約2万人を対象に調査を実施しました。



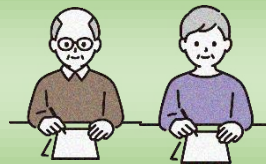
③回答率について

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、合計2,357人の調査はできませんでしたが、**全体の回答率は、88.4%**と高い結果になりました。

④調査結果について

調査結果は前回(平成30年度)に比べ、**ほぼ横ばいの数字**となりました。調査結果の一部を抜粋し、以下に掲載しています。

調査結果（一部抜粋）



☆かかりつけ医療機関の有無

医療機関名を記載した方(「あり」)の割合が**78%**
 医療機関名を記載していない方(「なし」)の割合が22%となりました。

☆地域包括支援センターの利用状況について

「はい(利用したことがある)」の割合が25%
 「いいえ(知らない)」の割合が28%
 「知っているが、利用したことがない」の割合が36%
 「未回答(未記載)」の割合が11%となりました。

暮らしのことで悩みごと等がある場合には、担当の民生委員・児童委員にご相談ください。地域包括支援センターをはじめとする適切な窓口におつなぎいたします。
 なお、担当の民生委員・児童委員が分からない場合は、茅ヶ崎市役所の地域福祉課にお問い合わせください。



民生委員・児童委員、主任児童委員の活動紹介

「優しさ繋げる」

「民生委員は繋ぐ仕事。優しささえあれば大丈夫です。」私を民生委員に推して下さった方のこの言葉が、今、実感として蘇っています。民生委員を引き受けたものの、地域福祉活動の経験の皆無な私に務まるものと悶々としていたころ、自分の地域で住民が不安に苛まれるような問題が生じました。住民だけではとても解決できませんでしたので、地域の担当民生委員に相談して、市に音頭を取っていただき、支援会議が開かれました。会議の後、私はその問題の方の様子を保健所にメールでお伝えすることになりましたが、市や保健所の動きが見えなく不安になったため、民児協の会長や副会長、包括支援センターに相談していく中で『繋がる・つなげる』仕組みを理解できるようになりました。たくさん話し合う中で、地域住民の優しさも知りました。問題の方を排除するのではなく、その方を含めた全員が幸せになるには、という『優しい発想』がこの難題を解決に向かわせつつあるのではないかと思います。

鶴嶺西地区 民生委員・児童委員 国井 美樹子

「自身の経験を地域の為に」

私が民生委員・児童委員を引き受けた理由は「地域への恩返し」です。私の具合が悪く子供たちを連れて病院へ行った時、そこにいらした地域の方が子ども達を見て下さりとても安心した事を覚えています。日常的にもよく声を掛けていただきました。そんな日々の生活の中で地域での声掛けがとても有難く、大切だと感じました。委員になってからは、高齢者を対象にしたサロンを毎月行っています。食事をしながら会話を楽しみ、身体を動かし、歌を歌い、和やかな時間を過ごして頂けるよう心掛けています。これからの抱負は「地域のつながり」を探す人の為のお手伝いをすることです。松林地区には明るくて頼もしい先輩委員さんがたくさんいらっしゃいます。安心して民生委員活動が出来る環境を嬉しく思います。

松林地区 民生委員・児童委員 長谷川 いつみ

「主任児童委員になって思うこと」

主任児童委員となって半年、研修や学びの機会を得ながら地域の方と共に活動をしています。世の中には子どもに関わる悲しい報道が絶えることはありません。けれど、赤ちゃん訪問や地域の活動を通じて思うことは、子ども達や子育て中のお母さん、お父さんを「ひとりにしない」と多くの方が積極的に関わってくれている、ということです。浜須賀地区においても、「赤ちゃんサポート」や「サロンはますか」といった乳幼児が参加しやすい活動と共に、子どもに関わる活動が活発になっています。家族同士はもちろんですが、ご近所の方、学校、各地域団体など多くの人や団体が応援していることを、子育て中のご家族に実感してもらえるようにお手伝いをする、それが主任児童委員の役割なのかな…と感じています。

浜須賀地区 主任児童委員 堤 優子

民生委員児童委員 主任児童委員の活動



高齢者宅訪問



高齢者交流会



子どもと高齢者の
異世代交流会



子ども通学路の見守り



赤ちゃんサポート

「聞き上手に徹して」

当初は3年の任期を長いと感じていましたが、目標を決めました。1年目は訪問を中心に、顔を覚えてもらう。2年目は実態調査を機会にお困りごとの解決に結びつける。そして3年目は信頼関係を築き、どんなことでも相談してもらえる人になる。

現在4期目ですが担当区域が3度変わり、新任のように活動してきました。現在は井戸端会議に参加することもしばしばあります。

これまでに介護申請や、近隣トラブル、空き家問題、ごみ問題等沢山の相談がありましたが、一人で解決できないことは、担当区域の垣根を越えて先輩民生委員、自治会、行政の皆様の力を借りながら活動してきました。又、地域サロンの開催が、民生委員同士のチームワーク、市民とのふれあい、コミュニケーションの役割を果たしていると思います。今後も聞き上手に徹し活動していこうと思います。

湘北地区 民生委員・児童委員 田中 京子

「明るい笑顔と元気な声」

私は、民生委員になって7年目です。さわやかな湘南の潮風をうけながら、担当地区の皆様の少しでもお役に立てる様、活動しています。私のモットーは「明るい笑顔と元気な声」です。訪問すると「いつも元気ね、若いわね」「貴女が来ると元気がもらえるのよ、うれしい---と」。「あら、私も後期高齢者よ、でも高ではなく幸せと書くの---(笑)」こうして楽しく会話が弾み、笑顔がいっぱい広がります。日々の活動は独居の方を優先しゆっくり、じっくりとお話を聞くことに専念しています。民生委員のなり手不足が深刻な昨今ですが、今こうして活動させていただけることに感謝し、がんばってゆきます。

海岸地区 民生委員・児童委員 亀山 孝子

「民生委員活動で感じたこと」

90歳単身女性を時々訪問します。「今度選挙があるでしょ。投票所まで遠くて。地域を回る投票車がないかしら。一度も棄権したことがないけど、今回は行かれないわ。」と残念そうでした。

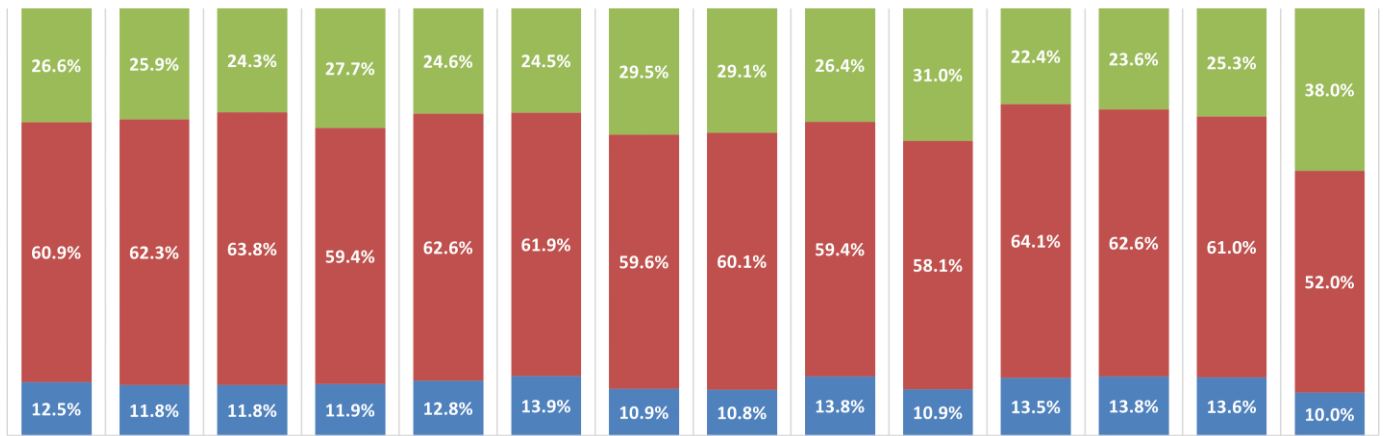
女性との会話が気にかかりましたが幸い期日前投票所が近くにあったので、「私も期日前投票へ行くので一緒に行きませんか。」と声をかけました。「こんな所に期日前投票所があったのね。ここなら近いから行かれるわ。」と翌日一緒に投票へ出かけました。投票所で担当者にお辞儀をし、心を込めて投票しているようでした。「今まで棄権したことがなかったからよかったわ。連れてきてくれてありがとう。」

「ありがとう。」素敵な言葉だなと感じた瞬間でした。しかし、「ありがとう。」は私が女性に伝えるべき言葉でした。女性が真摯に投票する姿を見て、一票の重みや社会への参加の大事さを学んだのですから。

茅ヶ崎地区 民生委員・児童委員 中島 麻紀

地区別世代別の人口割合

■ 0～14歳 ■ 15～64歳 ■ 65歳以上



	市全体	茅ヶ崎	茅ヶ崎南	南湖	海岸	鶴嶺東	鶴嶺西	湘南	松林	湘北	小和田	松浪	浜須賀	小出
人口	247,300	21,200	15,200	10,100	21,100	29,400	15,600	15,800	26,100	25,800	17,000	24,600	15,400	10,000
世帯数	106,900	10,000	7,200	4,300	9,200	12,200	6,600	7,000	10,900	11,300	7,600	10,400	6,200	4,000
65歳以上	65,800	5,500	3,700	2,800	5,200	7,200	4,600	4,600	6,900	8,000	3,800	5,800	3,900	3,800
15歳～64歳	150,500	13,200	9,700	6,000	13,200	18,200	9,300	9,500	15,500	15,000	10,900	15,400	9,400	5,200
0歳～14歳	30,900	2,500	1,800	1,200	2,700	4,100	1,700	1,700	3,600	2,800	2,300	3,400	2,100	1,000
自治会数	135	19	6	6	12	9	10	8	9	7	6	14	12	17
民生児童委員数	329	26	21	15	30	32	22	24	30	36	21	30	22	20

※ 人口、世帯数は平成5年7月1日付の茅ヶ崎市ホームページにより作成し、10位を四捨五入しています。

※ 世代別人口の比率を、全国と茅ヶ崎市を比較すると、全国は総務省統計局の平成5年7月1日の概算値となりますが、茅ヶ崎市の方が15歳未満では約1ポイント人口割合が多く、65歳以上の高齢者では、約2.5ポイント少ない傾向にあります。

【茅ヶ崎市役所からのお知らせ】

日常生活で困ったら、相談先に悩んだら…まずは福祉総合相談へご相談ください

令和4年度から「どこに相談したらよいかわからないが話を聞いてほしい」という相談に対応する福祉総合相談を市役所地域福祉課で実施しています。同年度の統計では、相談者が福祉総合相談へ繋がった経路は、民生委員・児童委員からの紹介が21.0%を占めていました。地域の民生委員・児童委員からの紹介を通じて、多くの方々が福祉総合相談をご利用いただいています。また相談内容の内訳を見ると経済的困窮、日常生活、家族、子育てに関する相談が58%を占めています。福祉総合相談では、生活上の困りごとの相談に応じ、相談者と共に解決への道や支援策を考えていきます。お困りごとがありましたら、どなたでもお気軽にご相談ください。

地域福祉課 福祉総合相談担当 電話0467-81-7152

福祉総合相談の相談内容

